

## 第 28 回評価委員会（10/28）での主な意見

### 【全体】

- ・西神戸医療センターには三木、明石エリアをもカバーする拠点病院として、移管のメリットを享受しながら、更なる機能強化の実現を期待している。
- ・神戸市民病院機構が運営している既存の2病院に、1病院加わるだけという趣旨の表現が目立つので、3病院一体で運営するスケールメリットを感じることができる表現がよりふさわしいのではないか。

### 【前文について】

- ・前文で西市民病院、西神戸医療センターは地域の中核病院として公的役割を果たしていく、とあるが、どのような役割を果たすのか。
- ・地域包括ケアシステムの中には、福祉との連携も含まれるため、それに関する表現も記入すべきではないか。

### 【第 4 財務内容の改善に関する事項】

- ・移管後も、市民にとってより良い医療を提供するために、神戸市民病院機構には、デューデリジェンス（資産の価値、リスク、収益力等の調査・分析）を行う等、十分な検討をしてほしい。（第4－1）
- ・移管に伴う、財政的な推移（人件費、設備投資計画等）については把握しておく必要があるのではないか。（第4－1）